

なにわ名物 開発研究会 NEWS

<第8号>

2001年7月28日発行

発行
なにわ名物開発研究会

〒542-0076
大阪市中央区難波1-7-2
SENOYAビル3F
TEL・FAX 06-6213-5554

第四回なにわ大賞は 高野征子さんに



「なにわ大賞」

「上方浮世絵館」オーナー館長
高野征子さん

今年四月、ミナミの法善寺門前にオープンした「上方浮世絵館」のオーナー館長。北洲、広貞などの江戸期の作品が五十数点並ぶ。「大阪に何か貢献したい」という思いの結実が、数少ない上方浮世絵を収集し

常設展示する場を彼女につくらせた。十数年前から道頓堀にユニークなギャラリー「ブルーナイル」も開業、「道頓堀界限にかつての文化的な賑わいを取り戻したい」と大阪ルネッサンスに意欲を燃やしつつづける。「大阪の町衆が育んできたカミガタイズムをさらに自由に、もつと自由に、今を艶めて、人をもてなし、アートを馳走し、都市の活力を世界に発信したい」という趣



旨で設立した同館は田辺光彰さんの「野生稲」彫刻とフレスコ画家・富永泰雄さんらによる異空間を創出、館自体がまるごとアートだ。「家族からまたえらい道楽して」と怒られてます」と笑いながらも、「上方浮世絵は江戸ものと違い、リアルで内面そのままが表現されている。昔、この界限を浮世絵のモデルになった役者さんも歩いてたはず。この場に作ってと待っていてくれたと思います」。ミナミから世界へ。上方浮世絵の魅力発信するパワーにいささかの陰りもないのが、なにわ大賞にふさわしい。

上方浮世絵館 大阪市中央区難波1-6-4
11時から20時 毎週月曜休館

「準大賞」

安倍晴明公顕彰会会長
猿田 博さん

今、テレビや映画でブームの陰陽師・安倍晴明がなにわの安倍野村で誕生したことは昭和五十年頃まで阿倍野区でも知らない人が多かった。郷土史家の猿田さんは、なにわ名所のひとつとして安倍晴明生誕地（現・安倍晴明神社）の顕彰を思い立ち、「安倍晴明とその周辺」の出版、ミニコミ誌や講演などでPRを続け平成二年に顕彰会を結成した（現在会員は八十人）。占い

コーナーの設置、キーホルダーの頒布などの活動を通して全国からの参詣者の増加や昨今の陰陽道や安倍晴明ブームに一役買っている、町おこし活動にも力をつくした功績は大きなものがある。

「準大賞」

河内木綿研究
寺尾 和一郎さん

二十七年前に河内木綿と出会う。以来、綿の栽培から木綿製品作りまで独力で挑戦、河内木綿の伝承・普及活動に人生の大半を捧げてきた。地元小学校をはじめ各地で無料の体験活動を行い、参加者はすでに数千人に上るといふ。河内木綿の魅力の伝道師と言っても過言でない。

一方で、一九九〇年に鶴見緑地で開催された「花と緑の博覧会」では、会場に毎日足を運び、早朝より水やりをするなど裏方に徹した。その人柄は「綿のように真っ白」と評され、多くの後輩に慕われている。

「特別賞」

全国大阪弁普及協会
代表 中西竜一さん

南京玉すだれ
馬場 隆さん

大阪ボランティア・アツアコンクラブ
顧問 谷口靖弘さん

一本松海運株式会社
代表取締役 一本松栄さん

日本唯一の酒専門雑誌
たる出版（代表 高山恵太郎さん）

「財大阪21世紀協会特別賞」

映画監督 三原光尋さん

News & News

十二月度 (二〇〇一年十二月十八日)

ラジオ大阪・チーフプロデューサーの吉村直樹さんをゲストに、大阪発のラジオ番組製作現場からの話とともに、吉村さん自身が地域で関わっておられる「まちおこし」もご紹介いただいた。吉村さんの人柄そのままに、気楽な月例会となりました。

また、終了時間を少し早めて第二部では「忘年会を兼ねた懇親の場」も行われました。

新年互礼会 (二〇〇一年一月二十六日)

「なにわ名物的水上互礼会」

新世紀の幕開けを飾った互礼会、盛り場ミナミとユニバーサルスタジオジャパンを



月例会報告

水上でつなぐ極秘ルートを体験することができました。川面から水都なにわの夕暮れと夜景を眺めながらの完成間近のUSJを背景に恒例の水上人間ビンゴも大盛り上がりとなりました。

二月度 (二〇〇一年二月二十八日)

大阪市経済局の国際経済・観光担当部長西川真司さんが国際観光集客都市を目指す大阪の姿勢を語られました。オリンピック招致、USJ、W杯と大阪を世界に発信するチャンスです。ことにUSJ開業にかけの意気込みが強く感じられました。

三月度 (二〇〇一年三月二十一日)

ゲストスピーカーは吉本興業の大谷由里子さん。横山やすしに殴られたマネージャー



上・右とも1月の水上互礼会で。海から行くUSJもいいものです。



4月度月例会はボーリング大会
優勝は吉里さん

「は数多くとも、殴ったのは彼女だけだ」という伝説のマネージャーです。

企画会社の運営経験を経て、吉本興業のプロジェクトチームプロデューサーとして、人脈を活かし、地域活性、人材活性、企業活性にこだわって活動している彼女の「よしもとリーダーズカレッジ」「Terrasunプロジェクト」事業などの報告を中心に「笑い」と「出会い」による大阪の活性化への提言と取り組みについて話していただきました。

●「第二十五回大阪インターナショナルギフトショー・春・二〇〇一」

《ビジネスガイド社主催、平成十三年三月十三日・十四日・十五日、マイドーム大阪にて開催》特別出展を含め四回目の出展の本年は本研究会から十七社が参加した。会場がマイドームにかわり、例年より多い来場者があった。参加者各自の出品のほか「研究会オフィシャルコーナー」を設け、我々の会合がいかに有意義でかつ楽しいもの

●第三十回中之島まつり

五月三、四、五日の三日間、「第三十回中之島まつり」が開かれ「なにわ名物開発研究会」は今年も図書館南側のプロムナードにテント二張り分のスペースで出展しました。島野珈琲のコーヒー、新会員の小林さんの清酒などをいただきながら、ゆつくりと談笑する中、エルビギン、ピンハウス、シャルロット、せのやさんらが「なにわ名物」グッズなどを販売しました。また、アイアートさんがブロックの知育玩具・デモンストレーションと販売、アイデアサポートさんが清酒・完勝と関連グッズのピール、中島製菓さんはおなじみ「天下茶

四月度 (二〇〇一年四月二日)

「何ぞオモロイことしまししょうや」という島野新総務部長の一言からなにわ名物始まって以来の月例スポーツバーション大会を開催しました。場所は大阪ドームシティ・パドゥ内にあるボウル123で、参加者は二十一名。二ゲーム行い、一位吉里氏、二位中条氏、三位島野氏という結果となりました。その後大阪ドーム九階の地ビールレストラン三田屋にて懇親会と表彰式もおこなわれました。

のかの情報発信に努めました。その結果、今回は四月末日までに三名の新会員が入会されています。



左写真はギフトショーにて

屋あられ」の実演販売を家族総出でがんばりました。前事務局の山本さんが提唱する「エコチャレ」ののっとりゴミは持ち帰りました。参加者のみなさんホントにおつかれさん、有り難うございました。

平成二十三年通常総会開催

「ものづくり・みせづくり・まちづくり」 高田昇先生が基調講演

五月二十八日、道頓堀ホテルにおいて「なにわ名物研究会」の平成二十三年通常総会が開催された。第一部の総会が無事終了した後、第二部で都市計画家であり立命館大学教授でもある高田昇先生の特別講演が行われた。高田先生は、全国で数十カ所の都市計画に参加されており、一九七六年度日本都市計画学会賞の受賞をはじめとする多くの賞を受賞、「まちづくり実践講座」など著書も多数ある町づくりのオーソリティだ。

講演にさきがけた高田先生のプロフィール紹介で「一九四三年生まれの五十八歳で……」の声に会場から「十歳若く見える」のどよめきが……。先生いわく「喜んでいいのか、どういう意味でしょうか」と和やかな雰囲気での講演は始まった。



ちづくり」。全国に約三千三百の市町村があるが「まちづくり」で成功しているのは三十カ所程度しかないとのこと。その中でも、我々の記憶に鮮明にまだ残る阪神淡路大震災で、壊滅的な状況から蘇った神戸のアロードの復興ストーリーを中心に話は進んだ。

震災一年後にアロードで商売をしている人々の手で「まちづくり協議会」が誕生した。アドバイザーとして参加してほしいの依頼を受けた高田先生は第一回目の会合から参加された。さまざまな提案や町の復興に対する意欲、商売の原点など縦横の話し合いの結果が形になったものとして、神戸市の支援の元に北野小学校跡にできた「北野★工房のまち」であり、協議会が発展した「アロードまちづくり会社」によるNHK跡のガーデンカフェや空き店舗でのガラスショップ、イベントとしてのクラフトフェアである。

アロードのまちづくりのポイントは、個々の店が身勝手に店舗を運営するのではなく、まずまちづくりを考えた事。その上で、若い感覚を持ち、自由な発想を持ち、夢が実現できるような「まち」づくりに突き進んで行った事と高田先生。その他、京都・長浜・湯布院など行ったことのない土地の話も目に浮かぶように分かりやすく語っていたのだらう。と話を聞き終え感慨を深めた。

（総務部長 島野 渉）

FROM 部会

総務部会

各種会合の円滑な運営、ホームページなどの企画・管理。行政・諸団体、企業との交渉など多彩に活動するのが総務部会です。今一度、「なにわ名物開発研究会」の設立趣旨を読み返すと、我々が生活する大阪の地域資源を再確認し、この大阪を活性化させていくために共に考え行動していこうと言うことだと気づきました。大阪にはたくさん資源がありますが、なんとといっても一番の資源は「人」。そういう意味では、当会は資源の山です。

この宝の山を掘り起こし、みんながキラキラと輝けるようになるには、メンバー個々が持っている輝きを出しあえる機会を多く持つことが必要です。

「活気のある所、人、物と触れ合って自分も今以上に活気のある人になり、楽しくやりましょう！」をテーマとする総務部会。総務部会に所属し私たちとともに「なにわ活気人」になりましょう！

商品開発部会

「なにわ名物」に限らず、いろんなアイデアを形にしていく部会です。今期より定期的な部会を開き、その中から出てくる「オモロイ話、ムチャなアイデア」を商品化するためにスペシャルチームを作ります。やはり今期はチームを両手の指では足りないくらいにしたいと思っています。また、自社の開発商品について、もう少しアイデアを加えたい、意見を聞きたい、販路を探しているなどのためにも開発部会に参加してみてください。意外な方向を見つけ出せるかもしれません。

このアイデア提供や意見の取り入れに対して、いっさい費用はかかりません。別にボランティアではないですよ。ただ、モノづくりに興味のある人たちに、イチチョカミ精神を発揮していただきたいと思っています。

ます。

プロもシロウトも、とにかくワイガヤやります。商品開発はやったもん勝ち、言ったもん勝ち、参加したもん勝ち！アホみたいなアイデア、それもほんのチョットしたところが商品になったら楽しいですよ。

会員交流部会

部会の目標として「会員各社のビジネス交流の推進」を掲げ、具体的には大阪ギフトショーのような展示会などに積極的に参加することで、対内、対外のビジネスチャンスをお互いに提供しております。なにわ名物のイベント担当部門とご理解ください。体育会系ののりで遊びも仕事も一生懸命、言いたいことははっきり言って、なにわ名物開発研究会を自分のために活用するアクティブな人間の集まりです。

このような会員交流部会は私たちとともに活動してくださる方を募集しております。

広報部会

広報部は機関誌発行を通じて会の活動を紹介する重要な存在です。IT時代の今、情報はリアルタイムに伝達されていますが、情報の保存面では短命です。加えて、内容を掘り下げるとなると、紙面の方が読みやすい。

そこで広報部は、紙媒体の重要性を再認識し、記録保存を考慮し、読み手と書き手のフィットネスを考えた、中身のある戦略的紙面を目指して活動したいと考えます。

当部会のスタッフとして、企画・編集・取材・撮影を行うことは、自社のDM・チラシはもちろん、ホームページなどのPR媒体の伝達力のアップに繋がるでしょう。一緒に勉強しながら機関誌を通じて実践していきませんか。そして、魅力のある機関誌、お客様に渡したい機関誌を作っていきましょう。

会員紹介 〈なにわ名物〉づくり頑張っています

仕事の真ん中

株式会社アイアート

印刷業として平成四年九月に創業。名刺や会社案内などの一般的な印刷全般を手掛けている。特に会社案内は顧客会社の個性を大切に扱い、営業マンとデザイナーが同行の上、経営者の話や方針を取材し、英知を集めて提案する。「よりの確な表現でかつ美しいもの」として生み出したいと語る。

また、三年前から本格的に「カーペーパーブロック」の販売をはじめ、印刷業だけにとどまらず、どんどん新しいことを企画している。この一押しカーペーパーブロックは曲線や曲面も自由に表現できる無限の可能性を持つシンプルなブロックパーツ。想像力を養い、創造する楽しさを実感しながら右脳を刺激する知育教材だ。「大阪で生まれた画期的なブロック。これこそ『なにわ名物』として全国に広げたい」。

大阪市天王寺区東上町8-36 TSNビル2F

☎06(6770)2727



街をメディアにかえる

株式会社サンビアート

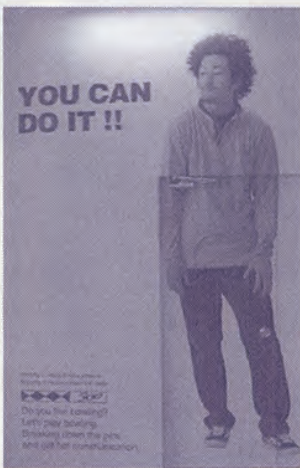
ビジュアル時代の今日、欲しいイメージをそのままグラフィックで再現する新表現(スコッチプリント)イメージグラフィックで、あらゆる環境装飾表現ニーズに迅速かつ柔軟に対応してくれる会社だ。

車両や店舗のウインドウサインや屋外広告看板、内照式看板、シャッター、コンクリート壁、床面、階段などあらゆるところに写真や絵画、イラストのフルカラー原稿を自由自在に表現することができる。対候性・発色性に優れているので迫力やメッセー効果も高くアピール度抜群だ。

第11回3Mサインアートで景観デザイン賞を受賞するなどおしゃれで色鮮やかな街並みを作る会社です。

大阪市東成区今里西1丁目9-16

☎06(6978)7007



なにわ名物の総合ギフトメーカーへ

株式会社 アイトック

現在の社名には平成四年に改称した。総合ギフトメーカーとして、ステーションナリ、ヘルシーグッズ、アウトドア、インテリア、工具セット、一般販促商品など多岐にわたるギフト商品を次々に発表している。ブランドを中心とする新会社ビーエスコーポレーションの設立や東京営業所を開設してさらに飛躍を続けている会社だ。

百五十点ほどの商品を扱っており、今流行のゲーディンググッズやドラえもんなどの可愛いキャラクターグッズ、気分転換シリーズなど常にもらって喜ばれる商品を取りそろえている。

またなにわ名物としてキーホルダーなど、「大阪らしいネーミングでユニークな作品を勉強しながら増やしていきたい」と語る。

大阪府松原市大堀2丁目15番35号

☎0723(30)8975



新入会員紹介

〈正会員〉

(株)アイトック

伊藤二郎/プラスチック製品企画・製造・販売

(株)アイアート

富永英輝/印刷、カーペーパーブロック販売

(有)アイデアサポート

小林美穂/ネーミングライター、知的所有権管理

(株)岸本吉二商店

岸本敏裕/孤樽、枺、製造・販売

(株)サンビアート

本庄三紀雄/印刷から看板まで広告全般

大洋紙工業所

菅 優文/包装資材、紙加工業

〈個人会員〉

福田 隆/函館、明石屋

吉田広司/アリコジャパン

倉田庄司/浜松、(株)スパイ

山口康弘/関西エスアンドエー

中村則彦/ソニー生命保険(株)

横山素夫/浅野工事(株)



なにわ名物開発研究会の事務所が中央区大手前に移転しました。国際集客都市大阪のシンボルとなる企業や商品を効果的にアピールする有意義な情報交換の場として、会合や打ち合わせなどを行っています。お近くに來られた際は是非お立ち寄りください。

新事務所

大阪市中央区大手前1-

3-62

大手前ビル4F(403)